

省スペースリモートI/O変換器 R6 シリーズ

取扱説明書

PROFIBUS-DP 用、アナログ 62 点对応
通信カード

形式
R6-NP1

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・通信カード1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

■GSD ファイル

GSD ファイルは、弊社のホームページよりダウンロードが可能です。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●ホットスワップについて

- ・本器は通電状態での交換が可能です。ただし、システムに影響を及ぼす可能性があるため、必ず上位機器とは通信していない状態で交換して下さい。複数のカードを同時に交換することは大きな電源変動を起こす可能性があります。交換は 1 台ずつ行って下さい。

●取扱いについて

- ・本体側面のディップスイッチは、電源が遮断されたメンテナンス時のみ設定可能であり、通電時は操作しないで下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

取付方法

ベース（形式：R6□-BSAまたはR6□-BSB）をお使い下さい。
ただし、通信カード（形式：R6-NP1）をベースに取付ける前に、下記の項目を行って下さい。

■局番の設定

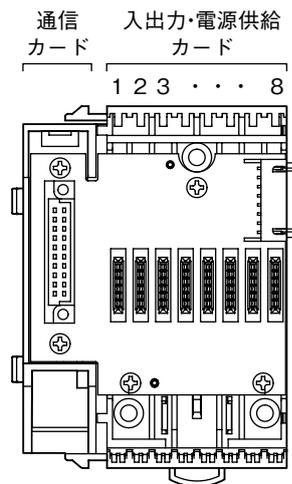
必ずカードを取付ける前に、通信カードの局番を設定して下さい。局番は前面のロータリスイッチにより、00～7Dまで設定可能です。ただし、7Dより大きな値を設定した場合も、アドレスは7Dとなります。

■ベースへの取付

通信カードは通信カード専用スロットの位置に取付けます。

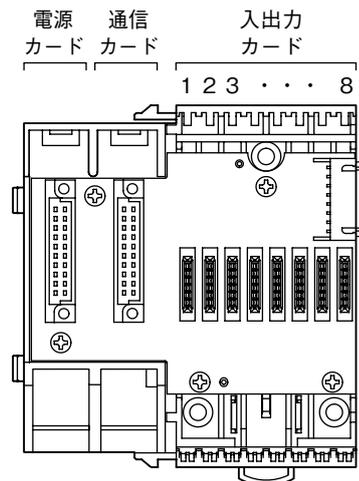
・R6□-BSAの場合

入出力カード、電源供給カード（形式：R6□-PF1）はスロット1～8のどのスロットにも実装可能です。入出力カードのカードアドレスは入出力カードごとに設定して下さい。

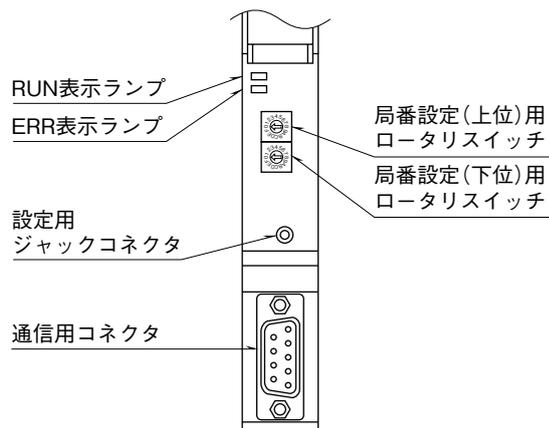


・R6□-BSBの場合

電源カード（形式：R6-PSM）は左端、入出力カードはスロット1～8のどのスロットにも実装可能です。入出力カードのカードアドレスは入出力カードごとに設定して下さい。



各部の名称



■PROFIBUS インタフェース



略号	ピン番号	機能
NC	1	(未使用)
NC	2	(未使用)
B_line	3	通信ライン(B)
RTS	4	送信要求
GND	5	0V
P5V	6	5V
NC	7	(未使用)
A_line	8	通信ライン(A)
NC	9	(未使用)

■前面スイッチの設定

●局番設定 (SA1、SA2)

2個のロータリスイッチにより、局番を16進数で設定します。(00～7D)

■表示ランプ点灯仕様

名称	表示ランプ動作	機器動作
RUN 表示ランプ	緑色 点灯	データ伝送中
	緑色 点滅	データホールド中
	消灯	通信断
	赤色 点灯	通信カード内部エラー
ERR 表示ランプ	消灯	正常、データ伝送中
	緑色 点灯/点滅	異常(I/Oカードエラーなど)
	赤色 点灯	マスタ不在
	赤色 点滅	アドレス設定エラー

コンフィギュレータソフトウェア設定

コンフィギュレータソフトウェアを用いることにより、以下の設定が可能です。

コンフィギュレータソフトウェア (形式: R6CON) の使用方法については、R6CON の取扱説明書をご覧ください。

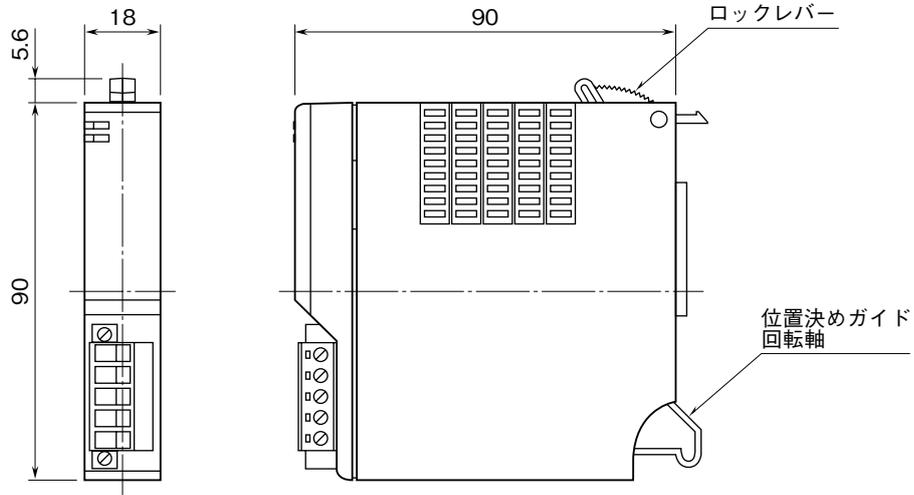
■通信カード設定

項目	設定範囲	初期値
スキャンマップ	1～31	1～31

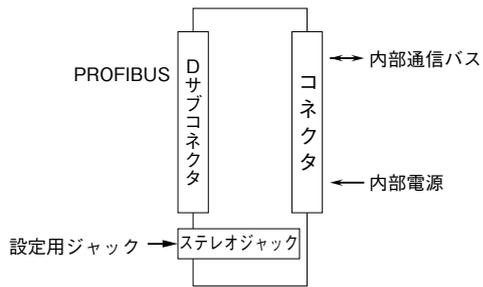
接 続

各端子の接続は端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位 : mm)



端子接続図



入出力データ

■アナログ 16 ビットデータ



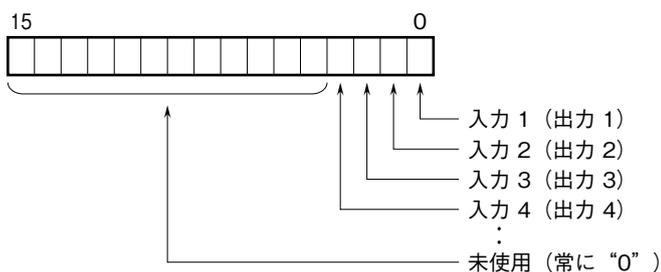
各カードに設定されている入出力レンジの 0 ~ 100 % を 0 ~ 10000 のバイナリ (2 進数) で示します。

温度入力では、温度単位が摂氏 (°C)、絶対温度 (K) の場合、実量値を 10 倍した値で示します。例えば、実量値が 25.5°C の場合は “255” がデータとなります。

温度単位が華氏 (°F) の場合、実量値の整数部がデータとなります。例えば、実量値が 135.4 °F の場合は、“135” がデータとなります。

また、各データの負の値は 2 の補数で示します。

■接点データ



0 : OFF

1 : ON

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。